

バグダッド 日 誌 (4月7日)

このところ、バグダッド連絡班員のR&Rのための送迎やバスラ連絡班員のトランジット支援のためセイサ・エアベースに行く機会が多い。セイサ・エアベースはバグダッド国際空港に隣接する軍用空港で、キャンプ・ヴィクトリーからキャンプ・リパティ、ログベース・セイツを通過し、バグダッド国際空港外柵沿いを回る車で約30～40分の道のりだ。キャンプ内とはいえず外柵沿いを走行することから危険度の高い任務であり、班長から

されている。

セイサ・エアベースは米英豪の航空機が運航され、各国軍人からシビリアンまで多くの関係者が利用することから待合所には常に多くの入居、民族が待機し、防弾壁の合間でひしめき合っている。この中で、自国の航空機がバグダッドに運航していない者は、主に英軍の航空機を利用している。日本も英軍機を使用するが、航空機の運用は時間通りとは行かず、多くの待ち時間をそこで過ごすことになる。私はその時間が実に楽しい。多くの人に声をかけることにより様々な人間模様が見えるからだ。この時、私は話を盛り上げるため、相手の立場に応じて特殊戦隊員、衛生科隊員、統幕勤務員及び多国籍軍日本連絡幹部の役職を使い分けている。

- ・ 2週間の戦力回復に向かうハイテンションな米陸軍空挺隊員
- ・ 1年の任務を終え、家族のことを楽しそうに話す衛生兵
- ・ 任務に疲れたのか、陸のある話し方をする特殊作戦部隊衛生兵
- ・ インターナショナルゾーンからイルビルに向かうため一旦クウェートに向かう旅に疲れた国連所属のフィジー軍人

- ・ ドバイに戦力回復に向かう大使館警護をしている民間会社(グローバル)職員
- ・ 日本語を巧みに使って冗談ばかり言う元沖縄海兵隊員のコンストラクター
- ・ AKを抱えて鋭い眼光を光らすジョージアの兵隊
- ・ 航空機の調整が上手いのかと嘆くヨルダン将校
- ・ 撮影禁止の看板の前で写真を撮りまくる某国軍人一行
- ・ その他、いつも私によくしてくれるエアベース勤務員達 等々...

付け加えて、1ヶ月くらい前から米軍から引き継いで交通路上の検問所の勤務に就いているウガンダ軍人の成長も気になる所である。当初は愛想もなく、ガチガチの指さし確認、点検により渋滞を引き起こしていた彼らも、最近では要領を得たらしくチェックをしながら冗談を交わせる余裕が出てきたようだ。(空港等重要施設等の検問所はもちろん米軍人が担当している)

4.



バスラLO日々業務報告(4月7日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2) (3)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席
5 その他(備考)	* R&R